

会 議 録

件 名	柱本小学校と三石小学校の再編統合計画に関する説明会・意見交換会（柱本小学校保護者）
日 時	令和8年5月16日（土）午前9：45から午前11時40分まで
場 所	柱本小学校 体育館
参加者	保護者 13名（家庭数 12）

本説明で出された意見等は、以下のとおり。

1－1. スクールバスのことです。紀見ヶ丘ルートは路線バスの活用を含むとのことで、小学校まではその路線バスの時間やったらいけない。三石小学校までスクールバスは出るんでしょうか。

（教育委員会）

スクールバスは、ルートはこれから検討していくことになるんですけども、路線バスが活用しているロータリーを停留所の選択肢として検討をしているところです。

1－2. 小学校までは行かない場合もあるのですか。小学校まで行かないと考えといた方がいいんですか。

（教育委員会）

三石小学校の隣にこども園があるんですけども、園の前の路上で止まって子供たちが乗り降りしています。他の車両も通ってる中で、安全性の確保ということもありますので、なかなか学校の前まで行くことが困難であると考えています。基本はロータリーのところで降りてもらって、そこから赤道という歩行者専用の道を通って、学校まで行っていただくということを考えているところです。

2－1. 話を聞いていて、学校まで送っていかないのはスクールバスですか。スクールバスの規定になりますか。路線バスで行くからと、路線バスのバス停、ロータリーで終了なら、それはスクールバスですか。スクールバスは、学校まで行くのがスクールバスだと思ってたんですけど。それは、スクールバスとしての機能ではないんじゃないということがあるので、別にバスじゃなくてもいいと思って、タクシーであったり、デマンドみたいなタクシーもあるから、そういう使い方で送っていく方法もあるし、駐車場がない、停まるバス停がないからと言うけど、学校には駐車場があるので、中まで入ってあげて降ろしてあげるということも可能やと思うんです。そこは検討してもらいたいです。

（教育委員会）

バスにつきましては、路線バスを含めた通学支援というのを考えています。今日の説明の

中で、スクールバスというと、泉新学園のように園児専用のバスのイメージがあるかと思うんですけど、路線バスを活用して、当然運賃は負担させていただく、あるいは電車とかもあると思うんですが、そういった通学支援を考えています。スクールバス等という説明をさせてもらっており、確かにご意見のと通りのイメージをお持ちになられてると思うんですけど、ちょっと幅広く考えさせてもらってるというのが正直なところです。

2ー2. 小学校の1年生になるとき、上の子も一緒に行けるということなんですけど、その場合、柱本小の体操服とかそういうものは三石小のものになるじゃないですか。また三石小から名前が変わると、その上の子体操服も補助してくれるんですか。

(教育委員会)

原則、こちらの方で負担させていただくのは、保護者の二重払いになるときを想定しています。前もってきょうだいが三石小学校行かれたときは、ちょっと言い方はなんですけど保護者さんの自腹になってしまうんです。前もって行かれた場合は、それを買って替えるとなれば、二重払いになるので、その辺りちょっとよく考えていきたいと思います。要は、保護者がせっかく買って、再編がなかったら体操服をそのまま着れたのに、変わることで、もう1回買い直さなあかんというのは、あくまで行政側で考えていきたいです。

2ー3. 柱本小から三石小に1年生の子がいるからいきました。その時は上の子の分は自腹で払いました。次に、統合時に三石小から新しい学校になるから、その時は払ってくれるという考えでいるということですよ。

(教育委員会)

サイズがおっきくなって買い替えることはあると思うんですけども、学校が変わらなかったら、基本的に最初入学したときに買われると思います。この学校の再編があることによって、新しい学校になって体操服が変わりましたとなると、保護者の皆さんにとったら、買わなくてよかったものを買わないといけないということになります。そこは保護者の追加の負担になってしまいますので、市の方で負担をさせていただくというような考え方がなります。

2ー4. 三石小の子の分も新しい学校なので市から全部負担するってことですよ。

(教育委員会)

今の三石小学校、柱本小学校のそれぞれの体操服ではない新しいものを作るということになれば買い替えになります。例えば、どちらかの体操服に合わしていこうということになってきたら、その合わして行く方は買い替えしないといけないということになります。

2ー5. 名前というか小学校名が入っているんで、同じの使うのは難しいかと思うんですけど。

(教育委員会)

各小学校でいろいろ状況違うんですけども、帽子とか体操服とか、例えば校章が入ってるとか入ってないとか、学校名が入ってるとか入ってないとか、仮に学校名変わっても影響ない場合も出てくるということにもなります。、そういったことは三石小学校と柱本小学校の帽子、体操服、他にも水泳のスクールキャップとかいろんなものあるんですけども、その学用品ごとに整理をし、この場合はこうなりますというように、具体なところはお示しもます。また、協議もしていただかないといけないと考えています。

3—1. 先ほど林間田園都市のロータリーまでしかバスが行かないことを初めて聞いてちょっとびっくりしたんですけど、そのロータリーから三石小学校までは大体歩いてどれぐらいかかるんでしょうか。

(教育委員会)

ロータリーからは、まず歩道橋を上りまして、三石台の西側に着いたら、そこから歩行者専用道路になります。そこについては自動車も走らないので、安全に通っていただけるものと思っています。実際に歩いた感じで言うと、5分程度ぐらいだったのかなあと思います。学校前で降りていただくのであれば、ちょっと混雑状況とか展開するスペースとか、いろいろな安全上の問題も出てくるので、安全面だけでいいですとロータリーで降りていただいて、歩行者専用の歩道橋を渡って、歩行者専用道路を歩いていただく方が安全ということで検討している状況になります。

3—2. 子供たちがいつも通る下校ルートというのは、子供たちによって多分まちまちやと思うんで、先生方からも、保護者からも大体そこを通るように指導されると思うんです。5分ぐらいなんですけど、学校終わってバスに乗るまで、歩く速度とかも違うと思うので、必ず乗ったかどうかというのはアプリでしか確認できない。バスの運転手さんたちは何人乗ったかというのは、その場で確認はできないじゃないですか。1年生は今年は何人とか、今日の時間は何年生までがこの時間に終わって、この時間乗るなんていうのはちゃんと把握してもらえるのかという不安があります。そういったところの対策というか、そういうのも検討していただけたらと思います。

4—1. 教えていただきたいんですけども、資料8ページの柱本小学校と三石小学校の児童数の推計とあるんですけど、この推計の仕方はどういった根拠でされてるのが書いていなかったの、それを教えていただきたいと思います。ここの推計でどんどん人が減っているからというところが一番議論のスタートになっていると思うんですけど、要は推計は本当に合っているのかというところをちゃんと確保しとかなないと、すべての話がぐらついちゃうんでね。まずそこを教えていただけますでしょうか。

(教育委員会)

この推計の算出方法についてです。令和8年度は、今年度の各小学校の児童数の記載をしています。令和9年度から14年度にかけましては推計値となります。令和8年の3月末時点で、柱本小学校、三石小学校に在住の0歳から5歳までの児童の人数を拾いあげています。令和9年度については、この3月時点でこの校区で住まわれている方が、1年後そのままの人数であれば、この人数が予想される形になっています。もし転出入があったり、私立に行ったりなど、いろんな事情があるかもしれないので、そういったところの影響は出てくると思います。令和10年度以降については、そういった経過期間が1年2年3年と、どんどん期間が空いてくることになるので、そういった影響がより大きく出てくるのかなというところです。転出入で言えば、今までの実績で言えば、転入があれば、期間が長いほど見込めるということもあるのかなというところです。そこについては、はっきり申し上げることはできないんですけども、そういった算出方法になっています。

4—2. ということは、やっぱり増えてくる場合もあると思うんです。ちょっとそこに対して、裏付けがちょっと弱い。本当に増えてきたときに、今のところ減っていくほうが確率は高いと思うんですけど、ただ工場とかもこの校区じゃないんですけど、どんどん作られてるという中で、やっぱり増えてくる可能性もあるので。移すっていうのがもう議論として決まってるのであれば、それは今更言うことはどうしようもないんですけど、増えてきたときでも対応できるというプランを何か考えといた方が、次の方の委員会の方で必要になってくるのかなと思いましたので、それをよろしくお願いします。

あとは、柱本小学校と三石小学校の教育の状況を考えたときに、やっぱりいいものを引き継いで欲しいというところをすごく感じています。例えばうちの子は、もともと三石こども園に通っていたので、三石小学校の方に仲良かった友達が多かったんですけど、柱本小学校に来たときに誰も知り合いの子がいなくて、ちょっと友達関係で苦労していたところもあったんですけど、当時の担任の先生、校長先生のご尽力で、何とか持ち直して通わせてもらっているんです。これはやっぱり柱本小学校のクラスは少人数だから、一人一人に対してものすごい手をかけることができる。一方で三石小学校だったら、35人に対して先生1人しか付いてない状態だと、もし同じような状況になったら、もう仕方ないんですけど、ほったらかしにされるのかなっていうところも感じてて、正直この少人数に救われたところがあります。なので、今後、同じような子がやっぱり出てきたときに、是非、通っていただけた方が絶対その人生が楽しくなってくると思いますんで、そういった良いところを三石小学校と再編になっても、ぜひ残していただければと思いますのでよろしくお願いします。

あとは、柱本小学校じゃなくなると、跡地をどうするのかっていうところを、次の委員会で議論していくとおっしゃられていましたけども、多分、その柱本小学校がなくなって、やっぱり嫌だ、反対だと思う方って結局わかるんです。やっぱり地域の繋がりの中で生活が

ある、学校があるというところが急になくなってしまう。やっぱりそこは丁寧に進められてるというのはすごく通じる、伝わるんですけど、もうちょっと具体的に何か、例えば跡地で部活動をやるとか、そういったこととかを盛り込んでいただければ、もうちょっと先のビジョンが見えたんで、より丁寧な議論を進められたのかなというのをすごく思った。次の委員会に持ち越しですというわけじゃなく、例えば、こういうことを活用を現段階で考えられてることがあると思いますんで、そういったことをやっていただければ、より理解し、互いにコミュニケーション取りながら進めていけると感じましたので、そちらもお願いいたします。

長くなってごめんなさい。先ほど体操服の話で、結局買うとか買わないとかいろいろ話があった中で、結局、移行措置を考えていかなきゃいけないっていうタイミングになってくと思うんです。例えばうちの子だと、三石小学校の方でお世話になるといったときに、あえて買い直す必要があるのかなと。要は、今の体操服を三石小学校も柱本小学校も使えるわけじゃないですか。それをあえて、何か予算がという話もかかってくるんですけど、別にそのまま使う。結局みんなもう卒業して、もうそれさえも使わなくなるんで、新しく入ってきた時に新しいものを買い直してもらえれば、お金の心配もしなくてもすみますし、そういった柔軟な対応、要は今あるものを使えばええやんと、ちょっと砕けた表現にはなるんですけど、そういった考え方もあるのかなと思いますので、一度ご検討いただければと思います。

(教育委員会)

体操服等については、まだ具体的な協議が進んでないんですけれども、本格的な準備段階になりましたら、2校での協議であったり、その内容について準備委員会という場でいろんな代表の方の中で報告させていただいたりする。そういったご意見を踏まえながら、さらに2校で協議を進めていったり、保護者負担の軽減については市との協議を進めていったりすることになります。本日いただいた意見につきましても、大変貴重なご意見ということで検討進めて参りたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

(教育長)

お子さんのお話をしていただいたんですけれども、本当に学校の取組を評価いただきましてありがとうございます。その辺りは心配なところで、学級担任をもったら、目が行き届くのは少ない人数、それは当然物理的な問題もあります。けれども、多かつたら多かつたで、例えば市の方で、学校の学校経営方針に従って、この学年が人数多いので人を1人増やして欲しいとか、県や国の施策を使い、人を増やして欲しいというのを校長から聞きます。それに基づいて教育委員会で人事配置をすることも行っています。できる限り、学校の経営がうまくいくように、それが子供の学校生活にプラスになるような配置していきたい思います。また、心配なことがあった際に相談する体制というのが、先ほどの説明にも出てきた教育支援センターです。昨年度までは心理士2名体制で行ってたんですけれども、今年度から倍増して4名体制にしています。今までだったら来てくれて相談することが主なことだったん

ですけども、これからはプッシュ型で出向いて行って、サービスを提供できるような体制も組んでいくことができると思います。心配なことがあったら、学校を通じて、是非、お声かけいただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

今、学校の特色ということでお話いただきましたけれども、棚田の話とかも特色の1つかなと思うんです。だから学校が子供にとって、豊かな教育活動になるというようなことを判断することがあれば、一緒になってもそういったことを残していくためにどうしていったらいいかということを支援していきたいと思っていますので、またご意見をいただけたらと思います。

5—1. スクールバスの話になるんですけども、紀見ヶ丘ルートで停留所4ヶ所、光陽台で3ヶ所程度になっているんですけど、これは全部合計7ヶ所程度回って、学校に林間田園都市まで行くという感じですか。学校が始まる時間から逆算したら、大体どれぐらいの時間にお家を出ないといけなくなるのか。スクールバスで通うことになったら、どの時間を想定しておけばいいのかなってということと、あと、最近ニュースでもあったと思うんですけども、バスの運転手さんが所在のわからない方を採用されているということもあったタイミングだったので、そういうことのないように検討していただいて、採用していただいたほうがいいと思っています。

(教育委員会)

スクールバスのダイヤについては、これからいろいろと検討を重ねながら決定していきます。まず学校の授業が始まる時間が基本になって、先ほど言いました最終がロータリーとなるなら、そこから歩く時間も含め逆算していく形になると思います。あと、停留所の箇所数も、今は目安ですけども、停留所が増えてくれば、その分、時間がかかってきますので、子供たちのバスに乗る時間も長くなってきます。子供たちの負担を考えるとバスに乗る時間もあまり長すぎずということを考えているので、停留所の数と乗車時間とのバランスを考えています。

全部一緒に回りますと乗車時間が長くなるので、お示しさせていただいているのは紀見ヶ丘と光陽台を別々に回るといいますか、2つのルートで検討を開始しているということです。

それから2点目のバス運転手のことなんですけども、現在、橋本市では隅田小学校のスクールバスは、バス運行事業者をお願いをしています。あともう1つ、橋本中央中学校もスクールバスが走っているんですけども、運転手は二種免許、いわゆるお客様を乗せる免許を持ってる方を条件にしています。バス事業者の方ですと、そういう方が雇われてるので、そういったところをお願いをする形で進めていきたいと考えています。

6—1. 具体的な質問ではないんですけども、ここに同席の保護者の皆さんいろいろ心配と不安がある中で、僕は割とおおらかな方かと思ってまして。いろんな世の中の方向性で

統合していくのかもしれない。じゃあどうやってやっていったらいいかって前向きに考えていきたいと思ってるんです。でも譲れないところは、やっぱり子供の命、それが温かい目で育まれていくかということだけが僕の中での基準なんです。いろんな人の中では、教育をこうして欲しいとか、もっとこんなことして欲しいという中でハードルは低い方なのかなと思うんです。そんな中で質問にあったようなオーガニック給食の質問もありましたが、いいことだなと思うことでも、予算の都合とか、今のハードの問題での難しいことがあると思いますが、本気で考えたときに、子供の数が減少傾向だと、でも減少させない施策はしてるのか、それはもう教育委員会じゃなくて、市の行政、まちづくりの問題だと思うんですけども、そういうところであったりとか、子供の数が2クラス3クラス内とあるのがふさわしいというのであれば、そこを目指す取組をしてるのか。本気で考えたら多分そこにも注力いくはずだと思うんです。ちょっと今の給食の話でいくと、センター式でそんなけ数を用意しないといけないから揃わない。今の物量から考えてそんなことは、整えられないのは、僕もオーガニックのものを育てているんでわかるんですけども、例えば新しい学校になるのであれば、そこに自校式のものを採用するとか、本気で思えばできることだと思うんです。つまり、そういうところがスクールバスのことであったり消耗品のことであったり、いろんな面でやっぱり不安がどんどん募っていくと思うので、何が一番、子供が一番、さらにひいては子供の命が一番というところで、子供が優先で他の制約があるからこうしようっていう条件があるから決まってくわけだと思うんですけども、一番はやっぱり子供の命に対して真摯に向き合っていて、みんなで何ができるんかっていうのを、作っていったらいいのかなと思います。

どうも今回の説明いただいた内容を聞いてもわからないんです。具体性がなくて、おっしゃってることはわかるんだけど、日々の生活じゃあ何時に用意してどうせなあかんとか、時間差が出てくるところでどうなるのかとか、もう本当に正直わからなかったんで、言ってることはわかるんだけど、そういうイメージがつかないところがあったので、決まってることが多いのであれば、もっと本当に抜本的にその子供たちが通いたいって思える、不登校なんか考えないという、その余地もないぐらい行きたいって思えるような学校づくりを、みんなでしていく機会なんじゃないのかなと思っています。ちょっと具体的なことではないんですけども、そのように思っています。

(教育委員会)

おっしゃられたように、今後、準備委員会を作っていくっていう話もさせてもらったんですけど、そういった中で、子供を中心とした児童のケアであったり、教育課程であったり、安全性であったりということを議論していきたいと思います。その視点は非常に大事ですので、そういったところは押さえていきたいと思います。

7—1. やっぱりバスのことがすごいびっくりしたので、今から友達に LINE して大騒ぎになるのかなと思うんですけど、そういったことをみんなに知れるように、きっとみんな

小学校まで送ってくれるんだなと思っていると思うので、もうちょっとわかりやすく、誰が見ても小学校じゃなくてロータリーなんだということがわかるような説明が欲しいと思うのと、あと学校再編準備委員会は、やりたいわけではないけど言いたいこともいっぱいあると思うんですけど、どんな感じで選ばれるか教えて欲しいです。

（教育委員会）

準備委員会は、柱本小学校と三石小学校にそれぞれ設置を考えています。委員の人数は、最大で25人ぐらいまでで、現在、隅田小と恋野小ではすでに立ち上がっているんですけども、そちらでは20名ずつとなっています。資料21ページに書かせていただいているんですけど、例えば柱本小学校の準備委員会ということになってきますと、柱本小学校のPTAさんから数名、未就学の保護者さん、地域住民の皆さん、そして、教育関係団体と書いています地域と学校をつなげることでやっていただいている共育コーディネーターさん、学校運営協議会の委員さん、児童の見守りなどいろんなところで関わっていただいている青少年健全育成会の委員さんなど、保護者さんは当然なんですけども、地域の方、学校にいろいろ関わってくれてる団体さんで、大体20名程度で委員を構成していきます。一般の方からの公募も考えています。

今日はスクールバスのことも、光陽台と紀見ヶ丘コースを考えてますというぐらいのお示しかかせていただけてないんですけども、今後そういった具体的なルートのことをお示しする段階がきますので、そういったことも、準備委員会の中で議論していただきたいと思っています。

隅田小と恋野小の例で言うと、2年後に一緒になるんですけども、もう協議をスタートしている状況です。

7ー2. 準備委員会に入って一緒に頑張ってやろうみたいな、できたらいいんですけど、ちょっとだけ意見言いたいなみたいな意見は取り入れてくださったりする窓口とかありますか。わざわざ電話してとかはハードルが高いと思うんですけど、こないだみたいにアンケートを書いてね、みたいなのがあれば、みんな書きやすいかと思うので、そんなんも入れてもらったらと思います。

（教育委員会）

恋野小と隅田小の例にはなるんですけども、この準備委員会での協議ということもあります。また、PTAさんと我々で懇談させていただく機会とかもありますし、内容によってはこのルートとかどう思われますかというアンケートをとったりとかということも、恋野小と隅田小でもしています。そういったことは1つのやり方ではあるんですけども、そのような進め方についても参考にしながら、皆さんとお話し合いや相談もさせてもらいながら、できるだけ準備委員会の場合だけではなくて、意見を言ってもらいやすいような仕組みも考えていきたいと思っています。

8—1. スクールバスのことですが、隅田小学校がバス通学を実施してるのを実際に見たことがあるんですが、学校を出てすぐ右に行った、新しいパン屋さんができているところの前にメガネ屋さんがあるじゃないですか。あそこの前のバス停で、その隅田小学校の児童たちがバスに乗って帰っていく姿をよく見かけるんですが、そういった感じで三石小学校の前にバスを止めて児童を降ろすのではなくて、どこか広場のあるところに停留所をつくる、登下校の時間だけでも止めれる停留所をつくるということも、もしかしたら可能じゃないのかなと思うので、それも検討していただきたいと思います。

(教育委員会)

先ほどのロータリーは、先ず1つの案としてお話をさせてもらったんですけども、今日いただいたご意見も踏まえて、今後検討していきたいと思います。